

年頭のごあいさつ

一般社団法人関西ニュービジネス協議会 会長 小松 範行



2019年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、当協議会の活動に対しご理解とご支援を頂き心より御礼申し上げます。

2018年の日本経済は緩やかな成長が持続され、中小企業の状況も改善傾向にありましたが、度重なる地震や台風などの自然災害による甚大な被害に見舞われ、経済活動にも少なからずの影響を及ぼした一年となりました。

関西では2019年は、G20、ラグビーワールドカップが開催されます。2021年にはワールドマスターズゲームズ、そして2025年の国際博覧会の開催が控えています。これらは世界中の人々が参加する国家プロジェクトであり、大阪・関西の魅力や強みを世界に発信し、成長の起爆剤とする絶好の機会でもあります。この機会に、若手やベンチャー企業などを積極的に活用することで、既成概念に縛られないものにしていくことができれば、イノベーションや新しいビジネスの創出などに繋がります。

関西ニュービジネス協議会(NBK)では、本年も『若い起業家の育成』『ベンチャー企業の支援』『会員のニュービジネス創出促進』を軸に、関西経済の活性化、チャレンジ精神にあふれる地域経済づくりに貢献して参ります。

『若い起業家の育成』は、若者が潜在的に持つイノベーションのポテンシャルに働きかける事に力点を置いた「起業家教育プログラム～16歳からの起業塾」の実施により、自分の可能性に気づき、未来に夢や希望を描いて、実現していく力を持った「イノベーションの担い手となる若者」の人材育成に取り組めます。

『ベンチャー企業の支援』においては、「NBKニュービジネスアワード」や「Connect! In Kobe」の実施を通してビジネスアイデアを発表する場の提供、会員企業との連携や大企業、ベンチャー、ベンチャーキャピタリスト、起業家予備軍の交流を演出し、ニュービジネスの成功事例を創りだすことによる「イノベーション」と「ベンチャーの創出」に取り組めます。

『会員のニュービジネス創出促進』では、「NBKフェスタ」や「日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)との連携」を通じ、近畿2府5県の地域特性を生かしながらも、広域経済団体としてのスケールメリットを最大限活用し、会員企業間の連携、会員間の情報交流、会員企業への情報提供を行うことにより、ビジネスチャンスの拡大、ニュービジネス創出の可能性を探り、活動の面白みを感じることでできる団体として事業を進めて参ります。

すべての原点である人材が集まり「新たな夢と希望にあふれた活力ある関西」を創出し、面白くて役に立つNBKとして活動を強化していきたいと考えております。関西ニュービジネス協議会(NBK)への積極的なご協力とご支援をお願いし、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



みんなのギモン 専門家が为您解答します

Q. 企業内保育所導入の注意点は？

A. 企業内保育所の導入は、企業にとって、従業員にとって、多くのメリットがあります。しかし、一方で、考えておくべき点も少なくありません。

保育園の利用者が少ない場合でも、運営にかかる固定費が必要となります。

また、収益事業でないことから、企業にとってはコストの負担が大きくなる点も考慮しておく必要があります。さらに、保育園の運営ノウハウが企業にはないことから、運営面を熟知する外部の専門サービスを利用することも考えるべきでしょう。

★お答えくださった人：中小企業診断士 柿原 泰宏 氏

※質問募集中！！

ご質問があれば、質問事項・メールアドレス・所属・氏名・電話番号を明記し、「専門家がお答えします」係宛にお送りください。

(送付先アドレス: nbk@nb-net.or.jp)

あとがき

2019年己亥年幕開け！！ 1月新春号をお送りすることが出来ました。本年は4月30日には今上天皇陛下が退位され、翌5月1日、平成から新しい元号に改められます。一つの時代が終わりを迎えると共に、新しい時代のスタートを迎えます。もう、昭和はふた昔前になってしまいます。多くの天災、人災に見舞われた昨年の今年の漢字は『災』でした。2019年は『災い転じて福となす』年にしたいと思えます。“福”は、「日々の努力」と「運」によって掴むことができます。「運」は自分でコントロール出来ない領域かもしれないですが「偶然的チャンス」をつかむことのできる「努力」は、日々積み重ねて行きたいと思っています。これからも少しでも皆様のビジネスのお役に立てよう、NBK事務局も日々努力と工夫を重ねてまいりますので本年も皆様のご協力とご参加お願い致します。

【「ざえぬびー」読んだよ！】HPやSNSへの「いいね」も引き続きお待ちしております。ご意見、ご要望、ご感想なども頂けますようお願い致します。

近畿経済産業局長 年頭所感

近畿経済産業局長 森 清 様



平成31年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、関西地域の経済は、生産や消費が好調に推移し、緩やかな改善が続きました。一方で、大阪北部地震や相次いだ台風上陸などの自然災害に見舞われた一年となりました。

昨年11月に2025年国際博覧会の開催が決まりました。本年6月にはG20サミット、秋のラグビーワールドカップ、さらには2021年ワールドマスターズゲームズと世界から注目を集めるビックイベントが目白押しです。これから数年間は、関西が益々元気になる絶好の機会だと言えるでしょう。関西一円2府5県の至る所で、様々なベンチャー企業や中堅・中小企業が活躍され、各地でイノベーションが湧出することが大いに期待されます。

近畿経済産業局では、万博などの開催を契機として、関西地域の経済社会が様々な形で発展するべく、本年は特に以下の3つのキーワードで事業に取り組めます。

一つ目は、若者や女性の活躍です。全国で若者の首都圏への流出が大きな課題となっており、関西も例外ではありません。「関西の大学卒業後の学生を如何に関西に引き留めるか。女性が如何に関西で活躍できるか。」が非常に大きな課題です。近畿経済産業局では、「関西ベンチャーサポーターズ会議」の枠組みを充実させ、関係機関と連携し、現在若者を中心に関西で1,000社以上が活動しておられるベンチャー企業がより成長し、更にベンチャー企業の創出が誘発されるようなエコシステムの構築を進めます。また、「LED関西」など女性起業家成長支援やベンチャー型事業承継の普及、中堅・中小企業と学生とのジョブマッチングなど若者や女性の活躍を応援します。住環境や通勤環境に優れた関西の魅力を域内外へ発信し、海外や首都圏からの起業や投資の呼び込みにも努めます。

二つ目は、中堅・中小企業の更なる活躍です。関西には特色ある優れた中堅・中小企業が多数存在し、地域経済を支えておられます。

近畿経済産業局では、ロボット、ヘルスケア、航空機、新素材、水素など今後成長が期待される産業クラスター群の形成や、地域未来関連施策の活用により、地域経済の牽引役を担う企業の支援を強化します。また、大規模自然災害への対応力強化、消費税や下請対策、人材の不足、事業承継、サイバーセキュリティといった中小企業の喫緊の課題に機敏に対応し、地域中小企業の皆様の活力向上を促します。

三つ目は、更なるグローバル化です。「持続可能な開発目標(SDGs)」のコンセプトは2025年万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の軌を一にするものです。近畿経済産業局では、SDGsのコンセプトの普及と環境エネルギー分野を始めとした成長分野における関西企業の海外展開の支援を積極化させます。また、各地に眠る様々な地域資源の魅力に着目し、その海外との接点の拡大を図ります。海外、とりわけアジアとの結びつきを強化し、関西のグローバル化に向けた取組を進めます。

近畿経済産業局の全職員が「がんばる企業応援隊」となって、年間1,000社を訪問し、中堅・中小企業の実態を把握します。また、関西企業の課題や今後の方向性、さらには魅力的な関西のビジネス環境を「関西企業フロントライン」として発信します。

本年はこれらの取組に全力をあげ、関西経済の更なる活性化を目指します。結びに、経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

発行元：一般社団法人関西ニュービジネス協議会

〒540-0034 大阪市中央区島町1-2-3 三和ビル8F
 TEL 06-6947-2851 FAX 06-6947-2852
<http://www.nb-net.or.jp> nbk@nb-net.or.jp
 ◎ツイッター ⇒ @NBK10
 ◎フェイスブック ⇒ @nb.kansai